

平成 30 年 6 月 19 日
気 象 庁

平成 30 年 6 月 18 日 07 時 58 分頃の大阪府北部の地震について（第 3 報）

大阪府北部で発生した地震について、6 月 19 日現在の地震活動、今後の気象の見通し及び気象庁の地方公共団体等への支援の状況についてお知らせします。

1. 地震活動の状況（別紙 1・2）

大阪府北部では活発な地震活動が続いています。

今回の地震発生後、19 日 15 時 00 分現在、震度 1 以上を観測する地震が 29 回発生しています。

（震度 4：1 回、震度 3：3 回、震度 2：8 回、震度 1：17 回）

地震回数は速報値で、後日の調査で変更になることがあります。

2. 今後の気象の見通し（大阪府・京都府南部）

- ・今夜 19 日は、気圧の谷や湿った空気の影響で、雨が降る見込みです。
- ・明日 20 日は、梅雨前線が北上し停滞するため、明け方から昼過ぎにかけて雷を伴った激しい雨が降り、大雨となるおそれがあります。雨の降りやすい状況は、その後 23 日頃にかけて続く見込みです。
- ・明日 20 日 18 時までの 24 時間に予想される雨量は、多い所で 150 ミリの見込みです。
- ・明日 20 日の最高気温は、大阪市 24 度、京都市 26 度で、湿度が高く蒸し暑くなる見込みです。体調管理に留意してください。

3. J E T T（気象庁防災対応支援チーム）の派遣

気象台職員を各地方公共団体等（大阪府、枚方市、箕面市、高槻市、茨木市、兵庫県、近畿地方整備局）災害対策本部に派遣し、気象の見通し等について解説・助言を実施（6/18～、のべ 14 名）。

なお、大阪府および枚方市については、19 日夜間も気象庁職員が常駐し、解説を実施します。

J E T T は、大規模な自然災害等の際に地方公共団体等へ支援を行う国土交通省の緊急災害対策派遣隊（T E C - F O R C E）の気象・地象情報提供班です。

4 . 防災上の留意事項

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがありますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度6弱程度の地震に注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

問合せ先：

地震活動の状況について

気象庁地震火山部 地震予知情報課 担当 宮岡

電話 03-3212-8341（内線 4576） FAX 03-3212-2807

気象の見通しについて

気象庁予報部 業務課 気象防災情報調整室 担当 大矢

電話 03-3212-8341（内線 3105） FAX 03-3284-0180

地方公共団体の支援状況について

気象庁総務部 企画課 防災企画室 担当 羽田・小寺

電話 03-3212-8341（内線 2361） FAX 03-3211-2032